

オタワ大学滞在を終えて

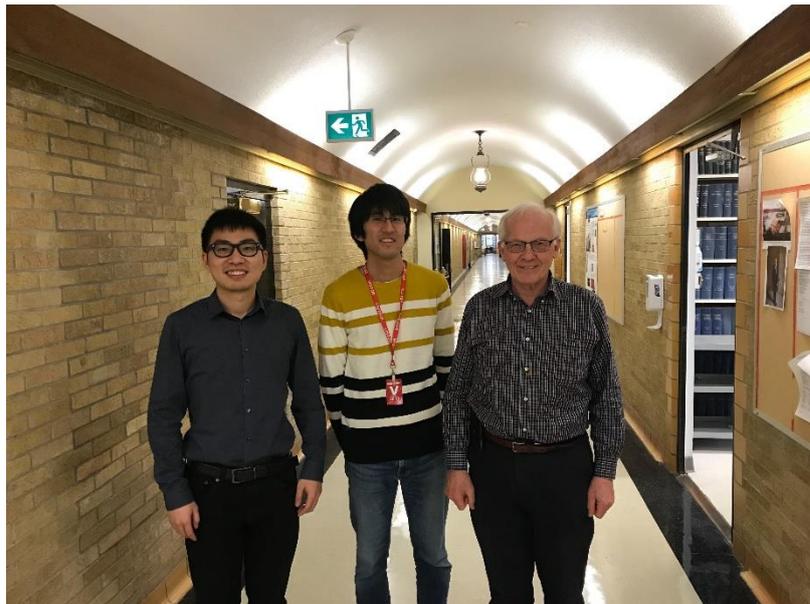
理学系研究科物理学専攻博士課程1年 小松原 航

私は2018年8月30日から12月2日までカナダにあるオタワ大学のPaul Corkum研究室で研究させていただきました。Paul 研は私の研究テーマである高次高調波の研究に関して世界的に有名な研究グループであり、2018年のノーベル物理学賞の受賞者の一人である Donna Strickland 先生を輩出したグループでもあります。このような世界的に有名な研究室で3か月間研究できたことを心から誇りに思います。

研究室では、同じ博士課程の学生である Fanqi Kong と一緒に実験をしました。彼は私とほぼ同じような興味を持っていたため、非常に濃い議論をすることができ、帰国後の研究に対する指針をたくさん与えてくれました。

オタワはバンクーバーやトロント、モントリオールといったカナダの他の都市と比べて小さい都市ですが、首都であり、国会議事堂や最高裁判所、大使館などがある都市です。気温に関して言うと、到着した9月はたいへん過ごしやすかったのですが、11月に入ってから気温がマイナスに入り始め、マイナス20度まで冷え込むこともありました。私はオタワの冬がさらに厳しくなる前に帰国したのですが、真冬になるとオタワの中心を走る運河が凍り、全長10kmにも及ぶ天然のアイススケートリンクが出来上がるみたいです。

最後になりますが、このような特別でかけがえのない機会を与えてくださった五神・湯本・井手口研究室の皆様、ALPS関連の皆様、そして私を3か月間受け入れてくださったPaul 研の皆様に感謝の意を表して私の滞在記とさせていただきます。本当にありがとうございました。



左から、一緒に研究した Fanqi Kong、自分、Paul Corkum 教授